

後編 P126~133,
P193

① 熊本空港

『熊本空港に羽田からの到着便を告げるアナウンスが響いた。
まもなくして到着ロビーは全日空 645 便から続々と降りてきた搭乗客であふれかえった。
「無事ついたよなあ……」(中略) その青年、成田譲である。』
『一団の中央の背の高い男。T シャツにジーンズというありふれた格好に
サングラスと帽子をかぶってはいるが、全体から放たれる「華」は隠せない。(中略)
(ス波英士だ!)]』
『ス波が立ち止まって何かを見ている。視線の先を追うと、
そこに学ラン姿の男子高校生とおぼしきがひとり立っている。』
『譲を乗せたタクシーが構内を出ていくのを見送って、ひとりの少年が玄関から出てきた。
(中略) 帽子からは金糸に似た栗色の髪が覗いている。』
『数時間前に譲と信長が降り立った熊本空港に、東京からの最終便が到着した。
(中略) 病身なのか、彼は車イスに乗っていた。容貌からすると三十歳くらいだろう。
幅のある肩にはスーツがよくなじんでいるが、
社用で来たサラリーマンというには少々様子が違っている。
目が不自由なのか、薄い色のサングラスをつけていた。』



熊本編でほとんどの登場人物が通ってきただろう場所。
高耶さんや千秋もおそらくここからですね。

中編 P209~215

② 白川水源

『ここ白水村は湧き水の豊富な土地で、熊本市内を流れる白川の源でもある。(中略)
八海と開崎は降りて、すぐ下を流れるせせらぎの音を聞きながら、杉の森の奥へと入った。』
『社殿の前には湧水の池がある。(中略)
池のふちには段差があり、水汲み場となっている。開崎らはそこへ降りた。(中略)
「水鏡法を行う」
開崎は静かに皮手袋を外した。』



原作では夜になると暗い、と書いてあるが、現在夜間はライトアップ。
毎分60トンもの水が湧き出す水面は、とても美しい。

